

新潟民放地上波デジタルテレビ中継局向けアルカリ蓄電池納入

Delivery of Alkaline Storage Batterys for Power Supply Back-up Systems for Niigata Commercial Broadcasters D-TV Satelight Stations

地上波デジタルテレビ放送のインフラ整備は、2011年のアナログ放送終了に向け、急ピッチで進められており、日増しに放送エリアを拡大しております。

この度、弊社は新潟民放殿（㈱新潟放送、㈱新潟総合テレビ、㈱テレビ新潟放送網、㈱新潟テレビ21）の共同建設デジタルテレビ中継放送所（糸魚川大野、両津、糸魚川、津南田中、妙高高原、村上局）に日本無線㈱殿、㈱NHK アイテック殿経由でアルカリ蓄電池を納入致しました。

今回受注、納入致しましたアルカリ蓄電池は、鉄道車両用として開発されたもので、MT形及びLPH形焼結式アルカリ蓄電池です。この蓄電池は、放電特性が優れており、低温・高温時でも電池の期待寿命が12～15年、触媒栓なしで10年以上補水間隔が期待できる、均等充電が不要等の特長があります。冬は積雪が多く、山頂までのアクセスが厳しい中継局では、長寿命、補水作業の合理化が要求さ

れ、弊社電池の特長が今後発揮できると期待されます。デジタルテレビ中継放送所では、送信機の無停電化を進めており、停電時でも送信機の電波が途切れないよう無瞬断で

- ① 発電機（EG）と蓄電池の併用
- ② 蓄電池（BF）

の2方式のいずれかで電源バックアップをしています。

今回の蓄電池は電源バックアップ用で38セル組み、容量はMT形20Ah（発電機との併用）、LPH形200Ah、250Ah、300Ah、500Ah（蓄電池のみでバックアップ）の5種類です。昨年度は、新潟民放殿へは鹿瀬、津川、大和、三川、津南、新井、高田、相川局へ納入しており、本年度で2年連続での納入となります。

長寿命、保守性に優れたMT形、LPH形焼結式アルカリ蓄電池の特徴を生かした地上局での今後の採用を期待しております。



（産業機器事業本部 産機第二営業部 山岸 博一）